

第 19 回 第 2 次瀬戸市教育アクションプラン推進会議
議 事 録

日 時：令和 6 年 5 月 29 日（水）午後 3 時 00 分から 3 時 50 分まで

場 所：瀬戸市役所 4 階庁議室

出席者：（敬称略）

<会長>吉田 淳

<副会長>右高 恭子

<委員>一尾 茂正、岡田 照明、加藤 千春、加藤 中哉、中澤 隼、中島 なぎ
さ、丹羽 光成、野田 敬資、春田 ひと美、和佐田 強（50 音順）

<オブザーバー>井上 紀和（まちづくり協働課長）、山井 利明（こども未来課長）
田口 浩一（地域振興部参事兼スポーツ課長）、長谷川 さと美（社会福祉課長）、
内田 智高（健康課長）

<事務局>加藤 正彦（教育長）、駒田 一幸（教育部長）、谷口 壘（教育政策課
長）、豊田 幸一（教育政策課主幹）、杉江 圭司（学校教育課長）、加藤 淳（学
校教育課主幹）、吉村 きみ（図書館長）、水野 臣浩（教育政策課専門員兼指導主
事）、松浦 慎造（教育政策課専門員兼企画係長）、奥村 祐麻（教育政策課施設
係長）、梶原 史帆（教育政策課主事）

議事録：

1 教育長

教育長より会議開催にあたり委員へのあいさつがあった。

2 新任委員の紹介

教育政策課長より新任委員 5 名が紹介され、各委員より就任のあいさつがあった。

3 会長あいさつ

吉田会長よりあいさつがあった。

4 報告事項

（1）令和 6 年 5 月 1 日現在の児童生徒数について
事務局より資料 2 に基づき説明。

（2）第 2 次瀬戸市教育アクションプランの計画期間の延長について
事務局より資料 3 に基づき説明。

5 審議事項

- (1) 令和6年度瀬戸市教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書
(対象：令和5年度)(案)について

事務局より資料4に基づき施策ごとの実績を一部抜粋にて説明及び意見提言依頼。
事前に委員から受けた質疑への回答を行った。

事前： P13とP70に「Googleアカウント」の設定について書かれているが、
設定(配布)のリスクやセキュリティについてどのようなのか心配している。
一般市民が個人で設定することは、個人の責任において行うことであるが、
学校で行うことについてのリスクや責任がどうなるのか、問題があったときの
責任についてどう考えているのか心配である。

事務局： 設定(配布)したGoogleアカウントは、学校用アカウントであり、Google
のオンライン学習管理ツールを使用できるようにするため、学校の管理者
が作成、管理しているものである。また、Googleアカウントを配布するに
あたっては、教員で構成する情報推進委員会において、使用できる機能を
決めており、現在配布しているアカウントについては、チャットやメール
は使用できないものとなっている。

事前： 「基本施策20 魅力ある学校づくりと学校の適正規模・適正配置の推
進」について、現在、菱野団地における学校再編を進めているが、令和1
0年の下半期に、萩山小学校に特別支援学校を統合する計画となっている。
このことが、アクションプラン施策11の取組指針にある「ノーマライゼー
ションの考え方」や「インクルーシブ教育システムの構築」と矛盾しない
かと考えている。

さくらんぼ学園の中等部と高等部が光陵中学校へ移転したとき、光陵中の
先生が「さくらんぼの子どもたちが来てから、中学校の生徒たちが落ち着いた」と
教えてもらった。インクルーシブ教育のシステム構築に向けて、その
裏付けとなる研究や出来事のように考えている。

今回の菱野団地の3小学校の統合と、さくらんぼ学園の統合が、この流れ
に逆流するように思えるが、市教育委員会として、どのような考えなのか知
りたい。

事務局： 菱野団地の学校再編につきましては、ノーマライゼーションやインクルーシブ教育システムの考え方のもと、当初は、八幡小学校に3小学校を統合、光陵中学校に特別支援学校小学部・中学部・高等部を統合する計画案とし、地域や特別支援学校を含む保護者に対して説明を行った。その結果、生徒の安全性や学校の使い方などについてご意見をいただき、現在の学校編成の形となった。

施設は別となるが、これまでも施設が離れている小学校と特別支援学校が交流を行ってきた実績もあるため、ノーマライゼーションやインクルーシブ教育システムの考えのもと、引き続き特別支援学校と小・中学校との交流は続けていく。

委員： 基本施策1の今後の方策等には「基礎・基本の定着」と記載があるが、その他は「基礎的、基本的学力の習得」と記載されている。揃えなくてもよろしいか。

事務局： 表現はいま一度見直すこととし、統一する。

委員： 基本施策8について、公民館で図書館の本を借りることができるよう、一定数の本が設置されている。この利用数は令和5年度実績に含まれているのか。

事務局： 公民館での貸出等利用人数は、実績値には記載した実績値には含まれていない。公民館内で統計を取っている場合は、利用人数の把握が可能かと思われる。

委員： 図書館集計値の数字には入れないということによろしいか。

事務局： 公民館には団体貸出利用数として実績値1となるのみであり、利用者数は把握していない。

委員： 就寝時間が毎日同じであるかという調査をとり、指標となっている項目がある。毎日夜遅い時間に就寝する子どもについても該当してしまい、健康の増進を判断する資料としては適切でないと思われるがどうか。調査の質問の仕方を変えることはできないのか。

事務局： 全国学力・学習状況調査に合わせて質問は作成されており、一般的な時間で回答されているものと考えている。

事務局より次回の開催は7月17日（水）15時からである旨連絡があった。